

心ある企業が環境をリードする

家や街をやさしく包む企業をさがせ！

提出 2003.1.11. (Sat.)

I D 番号：SL30330

学校名学年：山脇学園高等学校 2年

メンバー：小野島 茉莉 (チームリーダー)

小黑 佳奈 ・武隈 有加 ・松山 絵美 以上4名

指導教諭：白井 敦子

500万円の購入銘柄一覧

銘柄名	取得金額	銘柄名	取得金額
清水建設	25 万円	三菱重工業	20 万円
アタカ工業	20 万円	トヨタ自動車	20 万円
麒麟麦酒	50 万円	日信工業	25 万円
クラレ	20 万円	リコーエレメックス	25 万円
旭化成	25 万円	凸版印刷	25 万円
花王	25 万円	三菱鉛筆	50 万円
資生堂	25 万円	コクヨ	10 万円
東芝	25 万円	イオン	20 万円
京セラ	25 万円	イオンモール	20 万円
松下電工	20 万円	東京瓦斯	25 万円

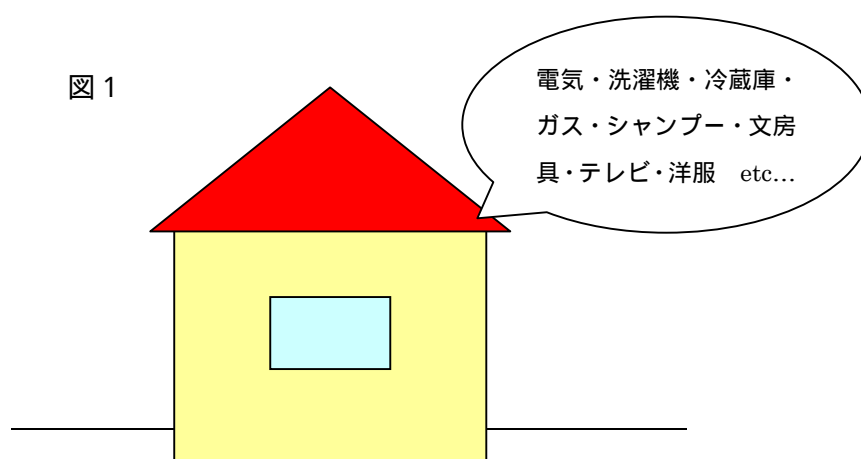
何故、この投資テーマを選んだか。

私たちは第2回日経 STOCK リーグに参加し、初めて「株」「投資」について学んだ。そして「企業」と「環境（特にゴミ問題）」の関わりについてテーマを絞りポートフォリオを組み、幸運な事に敢闘賞を戴くことができた。しかし、その時点ではまだ「株」や「企業」と「環境」の関わりや、「投資」と「環境」のつながりについて実は深く理解できていなかった為、今年も参加し、もっと勉強したいと思っていた。そして、今度はゴミ問題だけではなく、私たちの身の回りの環境全般に対して企業がどのように貢献しているか、という事を見てみたいと思った。偶然夏休みにテレビ東京の協力で投資コンサルタントの藤沢久美さんからお話を伺った時、環境とはいっても自然環境だけではなく、職場環境、地域環境、心の環境など「environment（広義の環境）」として捕らえなければならない事を聞いた。そこで私たちは、企業はこのような様々の環境に対しどう貢献できるかによって、その価値が変わるのではないかと考えた。

そして、今回色々な企業を調べているうちに、既に多くの企業は「自然環境（ecology）」には取り組むのは義務だと思っている事が分かった。それだけ社会が自然環境に敏感になっているという事だろう。だが、ecology をベースとしてもっと広い意味での社会環境に貢献ができ、しかもそれを利益に結びつけることができれば、その企業は消費者にとっても株主にとっても、社員にとっても、もっと大きな価値を示すことができるのではないかと考えた。そして、そのような事ができる企業は「心のやさしい」企業だと考えた。

また「環境」そのものの自体を見つめることで、私達を取り巻く「色んな形の環境」が見えてきた。生活環境、教育環境、職場環境、音楽環境、心の環境・・・他にも様々な環境がある。どれをとってみても「住みやすい環境」には欠かせない基準であり、それぞれの面で様々な問題や課題を抱えている。その中で、本来の「人と自然に優しい」環境について真剣に取り組んでいる企業を、自分たちの目で確かめて投資という形で応援したいと考えた。そしてこのような広い意味での環境にやさしい企業の製品だけで、家や街を作れば未来の環境も約束できるのではないか、と思い、ポートフォリオのテーマは「家や街をやさしく取り囲む企業をさがせ」と設定した。

図 1



企業の社会環境への貢献方法

まず、企業が社会環境に対してどのような貢献ができるのか調べてみた。

日本経済団体連合会が作った「企業行動憲章」を見ると、（社会の信頼と共感を得るために）という副題のもと、「企業は、単に公正な競争を通じて利潤を追求するという経済的主体ではなく、広

く社会にとって有用な存在でなければならない。」と書いてある。そして、主に

- ・地域・環境への支援
- ・バリアフリー社会（福祉）への取り組み
- ・芸術・文化への支援

などを通して社会の環境に貢献しようとしている事が分かった。

ポートフォリオを組むまでのプロセス

夏休みには麒麟麦酒の栃木工場へ見学に行った。これは私たちにとって「企業」を間近にみる初めての機会、副工場長の方から直接お話を伺えた事や、工場の方々皆さんが私たちにすれ違ふと会釈をして下さるなど、明るく暖かい雰囲気は「企業」という固いイメージを壊してくれた。その上、私たちにはまだ飲めないビールしか作っていない会社だと思っていた所、アグリバイオカンパニーとして麒麟オリジナルの花を開発して販売したり、工場内にめだかの育つ環境（ビオトープ・生物と共存できる空間）を作るなど、夢のある会社である事も感じた。なんとこの工場の周りには約10万本の木が植えられていて、「森の中のビール工場」を目指していた。勿論ビールの製造工程で出た排水は麒麟の工場できれいにしている。その時に発生するメタンガスを水素にして、水素と酸素を化学反応させ、電力全体の3%をまかなっている。きれいにした水は川に戻したり、ビールに使ったり、すすぎの水は予洗に使うなど何度も使用されている。また、ピンはリサイクル、ペットボトルはガイドさんの制服に、麦の殻は再生紙として名刺に生まれ変わっている。その上、ビールびんは軽いタイプのものにして、一度に沢山トラック輸送できるようにして二酸化炭素の排出を少なくする努力もしている。ここまで頑張っているこの会社は信頼できると、応援したいと思った。そして今お金を持っていたら麒麟麦酒の株を買ってもよいね、と話した。そこで今回は麒麟麦酒を中心に「家や街を取り囲む企業」を探す事にした。

まず、身近なところから考えると、毎日使っている「ビオレ」を作っている花王を思い浮かべた。花王の製品は「アタック」や「エコナ」も知っている。それから学校での株式学習で資生堂を研究した事と、化粧品やCMでも好印象だったのでこれも候補にあげた。また、前回も買ったトヨタ自動車は、製品が自動車だけの企業かと思っていたが、HPで見ると家、花、船まで作っていることが分かり業績が良いので決定。この4つの企業を柱に、その他洋服、文房具・機械、電気、ガス、建設の会社を探すことにした。

洋服はYahooで「繊維、環境、株式会社、上場」で検索し、その中で良さそうだったし、グリーンエコプラザに出展していたクラレを選んだ。「日経エコロジー」という雑誌で三菱重工が風力発電をやっている事を知り、これも選択。清水建設は建設会社の中で特に自然と、人に思いやりのある地球環境を目指している会社だと思ったので。松下電工は生活に必要な洗面所関係、照明器具などの家具が足りなかった人にも自然にもよい物を作っている。リコーエレメックスは環境に対して非常によい評価がでているリコーのグループ会社として、今回住居を建てるために必要な製品があったので選んだ。イオンと2002年7月24日に東証1部に上場したイオンモールは、私たちの生活に必要な用品を数多く揃えまた消費者が環境問題に直接かかわることのできる環境を整えている大型スーパー「ジャスコ」を経営しているので生活に必要なものを購入し、消費者が環境のことを学べる場所でもあるということで選択した。旭化成は、企業銘柄の分野が化学でサランラップなどの生活製品も生産しているが、今回は住宅の面からこの銘柄を選んだ。実際に旭化成の住居（ヘーベルハウス）に約20年住んでいらっしゃるという白井先生の意見を取

り入れた。というのは旭化成は、ロングライフ住宅（長期耐用住宅）のストック形成実現に取り組んでいるらしい。ひとつの住居を壊さずに長期間利用することは、地球環境（省資源・CO2の排出削減）にも優しく、いつまでも安心して、気持ちよく生活できる環境を整えようとしているところに魅かれた。

11月にはエコロジー&ソリューションフェアに行き、三菱鉛筆とコクヨに出会った。その後三菱鉛筆には企業訪問にも行った。担当の方が自分達の弱い面まで話してくださり、とても正直そうな会社だと思った。まだ売上には結びつかないらしいが、環境に取り組んでいる姿勢も見うけられたので候補にいった。コクヨは三菱鉛筆と比較する為に追加した。

さらにゴミ処理を手がける会社も住環境には欠かせない為、Yahooで「ゴミ、環境、株式会社、上場」で検索してアタカ工業を見つけた。ウェステック2002にも出展しており、信頼できそうだった。

表1 私たちの選んだ企業について（IR度は3段階で表示）

企業名	分野	IR 度	気に入った所	主要商品	どんな環境に貢献しているか
清水建設	建設		家畜ふん尿、生ごみ、汚泥、剪定枝を利用して堆肥を生産し、近隣市町村も含めた地域振興を目指したりサイクルシステムの提案、有機農業の推進などを行っていて、将来注目されていくと思った。他にも人間には欠かすことのできない病院・学校などを建築しているから。建物に対しては火災・地震でも家づくりを目指している。家が長持ちする家作りは、資源を大切にしたいという心いきを感じるから。	家・外装・病院、ビル、学校などの建設	生活、教育
アタカ工業	機械		良く知られていない会社だが、ゴミ処理などの見えないところで、私たちとつながっている。ゴミ処理は暮らしには欠かせない要素。	廃棄物処理・リサイクル・建築設備	水、住
麒麟麦酒	食品		健康と幸せを売るという基本方針の元、麦酒以外の分野でも積極的。工場内の環境を整え、めだかを池で育てたいとか、巣箱を作りたいなど夢がある会社。	ビール・医薬・機能食品・花	自然、体の健康、目や心、職場、地域、障害者、商品の生産過程において
クラレ	繊維		商品の幅がとても広い（衣服が主だと思っていたが、コンタクトレンズ、人工臓器などもある。）という事と、環境安全センターがある。	衣料品・家具・家庭用品・台所用品・医療用品・（医薬品も）・革製品（ランドセルなど）・自動車、電機の部品・食品包材、など	自然、教育（少年少女化学教室）地域（地域医療に貢献など）
旭化成	化学		‘心地よく長く住める’かどうかという重要なポイントを備えた家を作っている企業。医療福祉設計の分野も充実。技術だけでは補えない心身の安らげる環境を考えている。	繊維・化学（サランラップ・ジップロック）住宅・建材へも展開	生活、社会、高齢者・障害者を守る
花王	化学		商品のパッケージにもリサイクルの情報が書かれていて、消費者にも分かり易く説明できている。社長もスゴイらしく経営もよさそう。	家庭用製品・化粧品・食品（油）・業務用洗剤・介護用品	地域、子供にもわかる環境教育、障害者・健康を守る
資生堂	化学		‘本来の優しさ’から生まれる環境への姿勢に共感。エコポリシーである「生態系に配慮し、資源・エネルギーを大切に利用する」「環境に負担をかけない新技術の開発と応用」という部分が私たちの考える“環境への取り組み”に近いものだった。	化粧品	社会福祉（高齢者・障害者を守る）、芸術・文化を通じた交流、情報提供など
東芝	電気		お祭りを通して地域の人達と触れ合う機会を作っている。私たちの日常に欠かせない趣味、娯楽の分野にも力を入れ、同時に環境についても取り組んでいるという面を応援したいと思った。	映画・DVD・放送・音楽・パソコン・テレビ・携帯・キッチン家電・調理用品・照明	教育、地域、生活、趣味、娯楽
京セラ	電気		高齢化が進む中でこれから更に必要になる人工歯根・人工関節・人工骨がある。太陽光発電＋風力発電で出来る発電システムが発展している。（省エネ効果抜群）また、社会・地域貢献の活動として、地域の美化活動、環境展示会、社内見学（エコロジービル）を実施。私たちの生活に密着している分、環境と真剣に向き合っている京セラの投資してみようと思った。	携帯・カメラ・デジカメ・住宅用ソーラーシステム・健康商品・公共／産業用太陽光発電システム・医療用製品・ファインセラミック部品・電子部品	地域、コミュニケーション、高齢者の方

松下電工	電気		大人だけでなく子供にも分かるように環境に対してのホームページが充実していた。地球環境展などで環境のことを多くの人に知らせているから。更に環境研究開発にとても力を入れているから。	照明器具・ゴミ処理機・リサイクラー・便器・半導体など 情報光の環境ゴミの環境	自然・人への
三菱重工業	機械		横浜製作所での「廃棄物埋め立てゼロ活動」が表彰！風力発電も行う。幅広い環境対策に取り組んでいて、そのような商品も多い（省エネエアコン、オゾン発生装置など）	自動車部品・食品包装機械・（航空宇宙、原子力、原動機、鉄鋼建設、船舶・海洋）関連	自然、社会、地域
トヨタ自動車	輸送精密		自立や介護をサポートする車両の開発・普及に積極的に関わっていることや、水素を燃料にした環境対応車、エコカーの開発。パイオ緑化事業・屋上緑化、調達→生産→物流の面や開発の面でのリサイクルを行っていることが良いと思った。また地域のふれあい、ボランティア、国際交流（海外でも様々な社会貢献活動を行う。）もポイント。それと社会貢献ページの「社会への本当の意味での恩返し」を目指している。という言葉に惹かれた。	「車」←エコカーや自立や介護をサポートする車両の開発・普及＝福祉環境、住居（家）、ポート	心&身体（音楽環境、社員の健康づくりなど） 地域、自然 パイオ緑化事業・屋上緑化、社内環境、社員への教育、幅広い年齢層への教育
日信工業	輸送精密		取引先にはトヨタなどが挙げられる。2002年3月1日に東証一部に上場。環境には省エネ、廃棄物の分別リサイクル、環境草の根運動、会社近くの河川敷の清掃などで貢献。行動指針に地球環境保全につとめると書いてある。クルマはもっと人にやさしく社会に優しいマシンでなければならないと考えている。これからの企業というかんじ。	自動車用ブレーキシステムの開発、製造 刃具監視装置	地域・交通
リコーエレクトロニクス	輸送精密		自分の会社は環境にこんなに取り組んでいますとアピールするのがうまい。HPが見やすかった。小学生にも環境教育をしている。	空気清浄機、健康環境器具	教育、地域、障害者、身体、職場など
凸版印刷	諸工業		印刷以外にも色々な仕事をしていて、例えばレロルトの容器など良く目にするものも手がけている。	建築材、おもちゃ、容器・包装、壁紙	生活、社会、地域、子供、体、社員への教育
三菱鉛筆	諸工業		東京ガス、NKKと連携してリサイクル商品を作っている。下の東京ガス参照！（ペンのキャップ）株の動きに上下は少ないがその分安定している。社内の雰囲気アットホーム。環境問題に対して様々な点で積極的に取り組んでいるのが伺える。（初めてエコ商品を作る時、ある程度損はするがそれでも「良い商品を！」と取り組んだという姿勢が良いと思った。）それから表向きだけではなく内面の環境対策にもきちんと取り組んでいる。今後も長い目で見ていきたいと思った会社の1つだ。	文房具	自然、地域、社員への環境の教育、社内（身体・環境・・・社員のために目にやさしい電気にしている。）など・・・
コクヨ	諸工業		ユニバーサルデザインの使いやすいホチキス・定規・ファイルなどを開発している点。デスクキャビネット・チェア、アルミのリサイクルなど。	文房具	自然
イオン	商業		企業と消費者の結びつきを積極的に行っている。ジャスコの周りに住民と木を植えている。身体障害者専用の車置き場有機肥の無料配布（ジャスコからでたゴミから作っている）。分別ゴミ箱の利用。地球環境展を行い少しでも消費者に環境のことを知らせている点もよい。	生活必需品の提供 ジャスコ	生活環境の中の衣・食・住、情報、ゴミの環境
イオンモール	不動産				
東京瓦斯	電気ガス		風力発電で会社内の電力を作っている！！（←節電の為。）全社員の環境意識のレベルアップと業務に必要な環境知識の習得、専門性の向上のために、環境教育体系を構築している。それから三菱鉛筆、NKK（今回買ってないが）と共に「企業間の連携による環境リサイクル」をしている。（簡単にいうと東京ガスで出た廃材（今までは産業廃棄物処理業者にたのんで処理していて、無駄が多かった。）をNKKでプラスチック製品製造用の「ペレット」という粉末に再生し、その粉末を（リサイクル材を使用した文具で先行していた）三菱鉛筆がボールペンのキャップなどの材料として使っている。）	コンロ・鍋・電子レンジ・食器洗い乾燥機、床暖房・エアコン、温水機器・衣類乾燥機	教育、社内、文化、地域

選択した企業が出展したイベントなど

エコプロダクツ2002に出展した企業

イオン・コクヨ・トヨタ・三菱鉛筆・京セラ・東京ガス・東芝

ウェステック2002に出展した企業

アタカ工業

三菱重工業・・・ウェテック2002で新技術部門賞 乾電池リサイクルへの貢献が期待されて

エコテクノ2002に出展した企業

コクヨ（福岡）

清水建設（九州）

エコロジー&ソリューションフェアに出展した企業

コクヨ・三菱鉛筆

経過観察

ポートフォリオ決定後も企業の活動を見守る為に、毎日、日経新聞をチェックした。

麒麟麦酒は「痛風を気にする人向けの発泡酒」を2月に発売するそうだと（12月5日付）。痛風の原因になるプリン体を9割削減して、健康環境に貢献。

花王は「健康エコナ」で1月から米国にも進出するようだ（12月4日付）。米国は40～60才代の肥満人口が日本の10倍もいるそうだから、米国でも健康環境に貢献するだろう。

トヨタはアメリカの環境度ランキングでホンダについて2位になった。（12月6日付）

仕事と子育てを両立する為、4月から本社内に託児所の設置をする（12月25日付）

松下電工はアメリカのベンチャーと共同でナノテクを使った次世代型太陽電池を開発。将来はフィルム状の太陽電池を住宅の瓦などに貼り付けて使う案を検討中（12月6日付）

それからペット用くぐり戸も発売（12月18日付）。ペットにもやさしい。

イオンは利用客や従業員から募った提案を経営に取り入れるキャンペーンを進めたり（12月14日付）社員が地域の清掃をしたりする（12月12日付）など、消費者や地域の環境に貢献している。

清水建設は汚染土壌評価で三菱信託と提携。土地を浄化するノウハウで貢献しそうだ（12月25日付）

環境経営度（日経調べ）ではリコー4位、トヨタ11位、コクヨ14位、凸版印刷30位。

海外の環境経営度では、トヨタ3位、リコー8位。（12月10日）

時価総額増加ランキング（現社長就任後）：リコー9位、花王10位、京セラ26位、東京瓦斯29位、資生堂31位、トッパンフォームズ72位。

新聞記事の中で、社長の役割の重要性もわかった。雪印事件あたりから、頭を下げる社長ばかり見てきたが、社長のリーダーシップによっては株価もあげることができる事を知った。私たちが選んだ企業の中では、リコーの桜井社長、花王の後藤社長が好印象だった。

個人の株式投資が社会にもたらす働き

今回私たちは、自分たちに最も身近な文房具を作る会社「三菱鉛筆」を訪問し、お話を伺う事ができたが、そこで気になったのは、三菱鉛筆の個人株主の割合が低いという事だ。三菱鉛筆の

主な株主は企業や銀行の為、株価は安定している。しかも環境問題には10年も前から取り組んでいるそうだ。しかし株主総会で環境に取り組んでいる事を公表しても、個人投資家には届きにくい。もし、個人投資家が増えれば、「環境に取り組んでいる良い会社だ」と投資家を通して社会に広まることもあるだろうし、その結果、株価が上がれば、会社がもっと積極的に環境への取り組みを広げることができるかもしれない。そしてそのことを一般の人にも伝えることができれば、その商品の見方も変わってくるのではないかと？ その反対に企業が不信感をもたらす動きをすれば、株価に反映してくることもあるだろう。つまり、個人の株式投資は企業の先導役から見張り役も兼ねる、母親のような役割を務めるのではないかと考える。

だが現在の世の中の動きを見ると、新たに株主になる人を見つけるのはとても難しいと思う。とても堅苦しい割に儲からないからだ。でも、個人株主は企業にとっても大切なので、これを増やす為には、小さい頃から投資について学ばせるのが良いと思う。今回そのヒントを白井先生からいただき、私たちは子供にも分かりやすい、そして環境と株の関係にも触れた絵本を製作することにした。(絵本は別添)



写真1 作成した絵本 『よい企業 よいかぶ は どっち??』

ストックリーグで学んだ事

株の話は暗い話が多い。でも実際に企業のことを良く知ると、応援したい企業は結構あるものだった。勿論、その企業がすぐに利益をあげるわけではない。三菱鉛筆も今期の経常益は39%減だった(12月25日付け)が、頑張っって欲しい気持ちは同じだ。

購入した株価は購入当初(12月初旬)は、899人中671位とだいぶ遅れをとったように見えたが、徐々に順位を上げていき、1月に入って200位台前半にまで上がってきている。株価の変動にたいした動きが見られなかった要因としてポートフォリオのルールとなっている銘柄数20全て購入したこと、大企業だけでなく中小企業も考慮しながら選んだこと、現状での「よい企業」でなく、長い目で見て応援したい「よい企業」を選んだことが考えられる。

株は利益だけを追求するのではなく、自分たちが考える「よい企業」を長期間にわたって応援するものと考えれば、私たちのポートフォリオは成人しても、社会人になっても期待が持てるものだろう。

ポートフォリオ作成のため「エコロジー&ソリューションフェア」に行き、色々な会社の方から話を聞いた。その中で、共通していたのは「環境にやさしい製品なのに、見た目で選ばれるのでなかなか売れない」という嘆きの声だった。これは曲がったキュウリが売れない、というのと同じ事かもしれない。確かに、選ぶ側が「環境にやさしい製品」を見る目を養う必要があるのかもしれないが、表示も見にくいので、消費者側からするとこれはとても難しいことだ。今求められているのは、「環境にやさしく、しかも私たちも嬉しい商品」なのではないか。どうも、企業はまだグリーン購入法などの法律に合わせるために商品を開発していて、どこかで「コストもかか

るし売れないし」と嫌がっている部分もあるように見える。このような状態なので、消費者の心のことまでまだ考えが及ばないのではないだろうか。消費者は、消費者であると同時に投資家でもあるので、心ときめく商品や、愛される商品を作っていくこと、も大切ではないだろうか。

また、IRの重要性についても学んだ。アミューズに企業訪問に行った際、そこでサンプラザ中野さんが、IRの一環として私たちに会社の色々な事を紹介してくださった。IRとは投資家への企業の情報提供のことでもあり、投資家予備軍のためのきっかけ作りやアピールの場だ。だが、ストックリーグを通じて感じたのは、普段の生活では、企業の経営がどうだとかいう事をHPなどでわざわざ調べることなどない。だから株を買おうと思っても、どこが良いのか調べるのは難しいし、もし調べたとしても、どこを見て判断したらよいのかもわからない。IRがしっかりしていないと、特に予備軍には会社の良さが届かない。アピールするのは中小企業には難しいことかもしれないが、会社の外に出て自分達の声でアピールすることはできるだろう。前はIRについて考えることもなかったが、今回はその大切さにも気づく事ができた。株は未来を映しているタイムカプセルのようなものだ、と教わったが、IRはそのタイムカプセルの取り扱い説明書のようなものなのだ。

STOCK リーグに2回参加して、株式などの経済の知識だけでなく、私達を取り巻く環境のことをより深く知ることができた。また、継続して研究することの大切さも学び、私達自身の将来（進路進学）のことも考えさせてくれる本当によい機会だった。

レポートはこれで終了するが、これからも一緒に数多くのことを学んだこの仲間で、今回選んだ企業に注目し、応援していきたいと思う。

参考文献・資料

『日経エコロジー』2002年8月号（第3回環境ブランド調査） 日経BP社
『環境&ビジネス』2002年11月号（「住い」と「環境」） 株式会社宣伝会議
企業の環境報告書：麒麟麦酒 トヨタ 東京ガス イオン
会社概要：三菱鉛筆
商品カタログ：三菱鉛筆・コクヨ
『エコプロダクツガイド2003』
日本経済新聞・日経MJ

訪問した企業・イベント

- ・ソフィアバンク（藤沢久美さん）
- ・アミューズ
- ・麒麟麦酒栃木工場
- ・三菱鉛筆株式会社
- ・エコロジー&ソリューションフェア（主催 モリイチその他）

私たちに、いろいろとお話してくださった皆様に、そして、昨年に引き続き、丁寧にご指導してくださった白井先生、家族の皆にも御礼を申し上げます。

文字数 6120

（表・図・写真・参考文献・資料・訪問先の部分を除く）